

日本の教育の大きな問題点

開倫塾

塾長 林 明夫

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。

今、大学受験や高校入試が真っ盛りです。今週は、県立高校で推薦入試の面接があり、かなり多くの方が受けたようです。この1・2か月間は緊張感に満ちた毎日であると思いますが、一方で、既に入学が決まっている方もいらっしゃいます。大学へ行かれる方の約半分、短大や専門学校へ行かれる方の大半は、去年の暮れくらいまでに入学試験が終わって入学も決まり、のんびりとした毎日を過ごしているのではないかと思います。そこで今日は、そのお話を少しさせていただきます。

日本の教育の大きな問題の一つは、高校を卒業した人たちの74%が短期大学や大学、専門学校等に行くのに、高校の時にあまり勉強をしなかったという人が結構いるということです。学校以外での勉強時間0分、つまり、高校時代に学校以外では勉強をほとんどしなかったという人が50%、30分という人が約10%、1時間が約10%、1時間半が約10%で、実に1時間半以内の人が80%を占めています。そのうちの50%は0分ですから、ほとんど勉強しないで短大や大学、専門学校へ進学する方が非常に多いのです。

一方で、保護者の方は、血の滲むような思いで入学金や4月にむけての支払いをしているわけです。ただ、実情を言うと、ほとんど勉強しなかった方が行くわけですから、大学等の勉強がわからない状況で授業を受けざるを得ない方が半分以上いることになります。私が言いたいのは、保護者の方が一所懸命にお金を工面して下さり、また、本人の希望する進路を歩ませたいという思いでいろいろとお世話を下さった上で大学等に行くわけですから、せめてこの2月3月は遊び呆けないで、大学、短大、専門学校等で学ぶための準備をしていただきたいということです。

そこで、何を準備したらよいかお話しします。例えば、医学部などの医療系の分野に進むのに、数学をよく勉強していない、化学を勉強していないというのではすまされません。法学部や経済学部に行くのに、日本の政治や経済、歴史について、また、世界の地理や歴史について勉強しないで行くとい

うのはすまされないことです。それでは勉強にならないですからね。上の学校で必要になる勉強は決まっていますし、今の自分の状況もわかっていると思いますので、高校や中学校の教科書・参考書などを取り出し、足りなかったところの勉強を、この2月3月にしていただければと思います。それが、私のお願いです。そうすると、極端な学力不足によって、大学の授業や研究がわからない、短大や専門学校の授業についていけないということが少しでもなくなると思うのです。ぜひ、自分の足りないところ、勉強をしなかったところをよく自覚して、差を埋めるための勉強を今この時期にしてください。

本当のことを言いますと、私が一番言いたいのは、高等学校の先生方に対してです。2月3月になると、高校3年生はほとんど学校へ行かなくなりますが、そのような状況はあまりよくないと思います。上の学校に行くには学力が足りないことがわかっていながら、それを放り出してしまうというのは非常に無責任極まりないと私は思います。心ある高等学校の先生でしたら、上の学校に行く自分の教え子が勉強が足りなくて困ることがわかっているし、責任を果たせなかったわけですから、2月3月は学校に来なくていいよなどと言わないで、3月31日まで学校に来させてできる限りの補習をしてから、大学や短大、専門学校などに送り出してもらいたいと思います。ぜひやって下さい。

大学も、高等学校がそういうことをほとんどしないわけですから、高校3年生であっても合格させた学生は自分の大学の学生だと考えていただいて、不足している学力を前もって補習する場や機会を増やしていただきたいと思います。そのようなことを、大学、短大、専門学校等でやっていただければ、学生は高等学校でよく教わらなかった分、大喜びすると思いますので、お気づきの大学、短大、専門学校等の学長、先生方はぜひ取り組んでいただければと思います。

準備してほしいことは、もう1つあります。高等学校を終えて、大学、短大、専門学校等に進むと、自炊などを含め自分一人でやらなければならないことがたくさんあります。ですから、お父さんお母さん方は、最後の家庭教育だと思って、この2か月間手取り足取り徹底的に生活訓練の実施をお願いいたします。料理の作り方、お風呂の洗い方、家の中の片付けなどができないお子さんがいらっしゃいましたら、朝ご飯の作り方、お昼のお弁当の作り方、夕飯の作り方、洗濯の仕方、掃除の仕方、身繕いの仕方を、まだおうちにいらっしゃる2か月間に教えていただければと思います。おじいちゃんやおばあちゃん、親戚の方が教えてもいいわけですから、親の足りない分は、周りの親族なり地域社会なりで気がついた方が教えていただけるようよろしくお願いします。立派な大学生、短大生、専門学校生になって、高等学校が終わったあとも勉強を続けていただきたいと思います。これは、就職なさる方も同じです。一人暮らしをされる方は、その前に自分一人で生活できる方法を身に付けてから始めて下さいね。